



オリジナル焼酎『野芋（のもう）』完成！野方公民分館

3月15日（土）、大崎第一中学校の閉校式会場において、野方オリジナル焼酎のお披露目と販売会が実施されました。

これは、総務省『過疎集落等自立再生緊急対策事業』の農地再生事業（耕作放棄地の再生と収穫した農作物を利用した特産品製造）を活用して作られたものです。

この焼酎の原料となる芋と米は、植え付けから収穫まで全て野方地域で行われ、地元新平酒造で830本限定で作られました。なお、焼酎の名前は応募の中から田原蒼大くん（当時：野方小1年）の『野芋（のもう）』が採用されました。問 野方公民分館：弓削（478-3748）



▲お披露目されたオリジナル焼酎『野芋（のもう）』



大切に使ってください！車椅子寄贈

3月19日（水）、菱田中学校において、空き缶のプルタブを集めた益金で購入した車椅子1台を、町社会福祉協議会へ寄贈しました。

同校はこれまでに2台（平成22年3月・平成24年7月）の車椅子を寄贈しており、プルタブ収集は、菱田中学校・菱田小学校・中沖小学校の児童生徒だけではなく、地域の方々からの協力もありました。

児童生徒を代表して、川越拓人くん（菱田中学校2年）が、「これまで菱田小、中沖小、地域の方々と一緒にプルタブを集めてきました。今回は菱田中学校として最後となりますので大切にご活用ください。」と話しました。



▲プルタブを集めて購入した車椅子を囲んで記念撮影（菱田中、菱田小、中沖小の代表生徒・児童）



大崎の歴史を再確認！

歴史探学会おおさき（会長：高瀬幸雄さん）は、3月8日（土）、上町地区においてまち歩きを実施しました。

これは、公民分館や自治公民館、NPOなどのさまざまな団体が地域の課題解決を図るための事業に対して町が助成を行う『提案公募型事業』を活用したものです。

町内から参加した約20名は、研修センターグラウンドをスタートし、月笑寺跡、西南の役官軍本営跡、大崎山心慶寺跡などを会員らの説明を受けながら、約2Kmの行程を2時間かけて回りました。

参加者からは、「何気なく見ていた石像などの由来を聞くと地域への関心が深まる。」といった声が聞かれました。



▲歴史探学会員から説明を聞く参加者たち